

Nagata Kiyofumi

永田 潔文

福岡大学 学長

KYUSHU
OKINAWA
TOP
FILE

2025

九州・沖縄を担うトップ群像

MEMO

- 1954年12月2日生まれ
- 福岡市出身
- 九州大大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程修了

79年福岡大理学部助手に。同大講師、助教授を経て、97年に教授。2017年に理学部長。23年に学長就任。趣味は登山で同大山岳部長を19年務めた。最近は時間がなく「なかなか山に行けない」と話す。代わりに散歩や畑仕事で気分転換。

「改革を継続して選ばれる大学に」



2025年4月に改正私学法が施行されるため、24年はその対応が求められた。寄付行為の変更や内部統制システム整備、ガバナンスやコンプライアンスの強化を重視する仕組みづくりに向けた準備を進めた。私立大学のステークホルダーは一般社会も範疇で、社会から信頼される体制づくりは必要だ。

ハード面では福岡大学病院新本

館が新たに完成した。より機能的で人に優しい医療を実現する。

25年には5年の中長期事業計画を策定する。教育分野を充実させ、社会のDX化に合わせた人材やイノベーションを起こすグリーン人材の育成に力を入れていく。

22年に発足した「FUスポまちコンソーシアム」では地域と連携し、中学校の部活を支援しており、

スポーツ庁からの視察もあるなど、全国のモデルになっている。昨年には障がい者スポーツに力を入れ、ダイバーシティを推進している。

40年に日本の大学生は2割減の40万人になる。本学も受験生確保が命題だ。人口増の福岡市に立地する利点はあるが、選ばれる大学であり続けるために日々の教育改革、設備投資に努めたい。